

科目名	ヒューマンインタフェイス	英文表記	Human Interface	平成25年2月20日			
科目コード	6313						
教員名: タンスリヤボン スリヨン (Tansuriyavong Suriyon)				作成			
技術職員名:							
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・情報工学コース		専2	選	学修	2単位	講義	前期
科目目標	人間と機械やコンピュータとの適合を図るために、多機能携帯電話を介したヒューマンインタフェースデザインについて理解する。						
総合評価	レポート課題1～3で総合評価する。総合評価点の60%以上を合格とする						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	多機能携帯電話のアプリケーションの開発環境を整備できる。(A-2)		⇒	整備できるかどうか、レポート課題1で評価する	25%	
	②	App Inventorを利用して多機能携帯電話で動作するアプリケーション開発ができる。(A-2)		⇒	開発できるかどうか、レポート課題2で評価する	25%	
	③	自由かつ面白いアイデア・発想に基づくヒューマンインタフェースシステム(H.I.System)を考案・実装・発表できる。(A-2)		⇒	できるかどうか、レポート課題3で評価する	50%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学	
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2	
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	100	0	100	
基礎的理解				40		40	
応用力(実践・専門・融合)				40		40	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)				20		20	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>・本講義では、人間と機械やコンピュータとの適合を図るために、多機能携帯電話を介したヒューマンインタフェースの基礎と応用を学びます。各自の自由かつ面白いアイデア・発想に基づくヒューマンインタフェースシステム(H.I.System)を考案・実装・発表して、一連のヒューマンインタフェースシステム開発を学びます。</p> <p>【履修上の注意点】・基礎の理論を学んだ後は、自学自習を覚悟して自己能力の向上に励むことが望</p>						
教科書・教材	自作教材及びパワーポイントなどのプレゼン資料						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	授業概要および授業の進め方について理解する。		
2	ヒューマンインタフェースデザ	2	ヒューマンインタフェースデザインを理解する。		
3	多機能携帯電話アプリケー	2	ソフトウェア開発環境を整備する。		
4	ション開発の環境整備	2	ソフトウェア開発環境を整備する。	レポート	
5	App Inventorによるプログラミ	2	App Inventorによるプログラミングについて学ぶ(1)		
6	ング	2	App Inventorによるプログラミングについて学ぶ(2)		
7		2	App Inventorによるプログラミングについて学ぶ(3)	レポート	
8	H.I.System 応用(1)	2	多機能携帯電話を利用したHuman Interface System の実装・実現を行う。		
9	H.I.System 応用(2)	2			
10	H.I.System 応用(3)	2			
11	H.I.System 応用(4)	2			
12	H.I.System 応用(5)	2			
13	H.I.System 応用(6)	2			
14	H.I.System 応用(7)	2			
15	まとめ	2	実装したシステムを発表・評価する。	レポート	
期末	期末試験	[2]	実施しない		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート課題(授業内容の理解度を把握するための課題を課す。)			各3時間×5	
②	予習			各2時間×15	
③					
備考欄					
<p>・この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める</p> <p>・主たる関連科目は信号処理とメディア通信(5年)、情報理論(5年)、データベース(5年)、メディア情報工学実験I(2年)、メディア情報工学実験III(3年)である</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)